

青少年教育指導者等の養成及び資質向上事業

「学級や集団の力を生かす体験学習法指導者講習会」

1. 趣旨 冒険教育の手法や考え方について体験を通して学び、学校教育や学級経営、社会教育等の場で活用できる、集団の中での望ましい人間関係づくりや個人の成長を促すための指導技術を身につける。

2. 事業の概要

(1) 期 日 令和2年7月11日(土)

(2) 参加者 22名(学校関係者・青少年教育関係者など)

		20代	30代	40代	50代
男性	12名	1名	3名	4名	4名
女性	10名	5名	4名	0名	1名

3. 企画運営のポイント

- ①MAP(みやぎアドベンチャープログラム)研究会の協力のもと、PAやMAPの手法を活かした集団作りについて、体験を通して学ぶ機会とする。
- ②コロナウイルス感染症の影響で学級や集団作りに悩んでいる教育関係者等に対して、新しい生活様式と連動した学級経営について考える機会とする。

4. 日程

9:30

12:00 13:00

16:00 16:30

開講式	演習① アイスブレイク グループでの課題解決	昼食	演習② グループでの課題解決 ワークショップ 学校教育に生かす体験学習の展開	質疑応答	閉講式
-----	------------------------------	----	---	------	-----

5. 主な活動内容



①ソーシャルディスタンスでアイスブレイク



②グループで体を動かしながら課題解決



③ホワイトボードを活用した振り返り



④これからの学級経営の在り方について話し合う

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・たくさん学び、たくさん楽しませてもらいました。
- ・人と会って体験するMAP楽しかったです。
- ・年に数回開催してもらえるといいなと思います。
- ・MAPの研修は、参加するたびいつも元気をもらいます。来週からの学校生活に生かしていきたいと思います。
- ・たくさん気付けることができました。今後に生かしていきたいと思います。また、学べる機会があったら、ぜひ参加したいと思いました。
- ・初めて参加し、学級で活用できるアイデアをたくさん知ることができました。
- ・MAPの活動は、普段の授業では気付かない友達のよさにも気付けるよい活動だと思った。
- ・初めて会う人とでも、活動を通して距離が縮まった。一緒にやる大切さを学べた。
- ・今日活動できたことで、教室で取り組んでみようという気持ちがありました。
- ・参加できてよかった。コロナ禍で、何をすることも消極的な最近だったが、月曜日からがんばれそうだ。
- ・大変な時期に素晴らしい研修会だった。
- ・久々に活動を楽しめた。

(3) 成果

- ・MAP研究会と協力して行うことで、学校の教室をイメージできるような構成で活動を進めることができた。
- ・参加者の多くが若い先生方だったので、PAやMAPの手法を新しく学べるいい機会となった。
- ・コロナウイルス感染症対策のため、活動が制限される中で、今、学校現場でできること・教室での在り方等について話し合うことができるいい機会となった。

(4) 課題

- ・当初は5月に1回目、7月に2回目開催の予定だったが、コロナの関係で、7月開催のみとなった。年度当初の開催で、学級づくりに直に生かせる時期に開催したい。
- ・1日という短い時間での開催のため、じっくりと活動や話し合いをする時間が短くなってしまった部分があった。

担当：主任企画指導専門職 安達 章美